

令和5年度

自己評価

川村中学校・川村高等学校

川 村 小 学 校

川 村 幼 稚 園

令和5年度 自己評価

川村中学校・高等学校

1 教育目標

豊かな感性と品格
自覚と責任
優しさと思いやり

2 本年度の重点目標

- (1) 知・徳・体の調和の取れた教育の実践
- (2) 三位一体の教育を実践
- (3) 中高6年間を見通した教育の実践
- (4) 一人一人を生かす教育の実践
- (5) 進路を見据えた教育の実践

3 評価表

* 評価基準 (A: 十分達成している B: おおむね達成している C: やや不十分である D: 不十分である)

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・ 建学の精神・教育方針 ・ 校務分掌組織 ・ 職員会議等の運営	B	成果：組織が活きて働く仕事分担となっている。 課題：学校経営計画の紙面の作成をして、計画に基づき実施していく。
	②研究・研修	・ 研究組織、計画 ・ 授業改善への取り組み ・ 研究会への参加	B	成果：教員一人一人がオンライン授業への研鑽を積むことができた。 課題：研修会への更なる周知をし、授業の充実に努めていく。
	③保健・健康管理	・ 保健、安全計画 ・ 安全点検 ・ 緊急時の対応	A	成果：危機意識をもって保健指導が成された。 課題：感染症への予防対策に注意を払い、安全点検に甘んずることなく、今後も引き続き様々な状況を想定して見直しを図っていく。
	④情報管理・施設設備管理	・ 個人情報の管理保護 ・ 施設設備の管理 ・ 施設の有効活用	B	成果：個人情報の管理については良好であった。管理および行き届いた施設管理ができた。 課題：施設管理については、メンテナンスを必要とする箇所がいくつかあり、引き続き改善を図っていく。
	⑤一貫教育	・ 学校公開の実施 ・ 学校情報の発信 ・ 小中高の連携	B	成果：ホームページ等を通して情報の発信をすることができた。 課題：小学校との連携として算数セミナーについては、継続して開講することができた。引き続き、連携を図るべく検討していく。
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	・ 教育目標の周知 ・ 教育計画の作成 ・ 教育活動の評価	B	成果：教育目標に基づき、教員一人一人が意識をして取り組んでいる。 課題：日々の学校生活の中で、生徒に自覚を促すよう工夫を凝らして指導する。
	②教科指導	・ 指導計画の立案 ・ 指導方法の工夫改善 ・ 評価、評定の工夫	B	成果：各教科で話し合いながら、オンライン授業の充実を図った。 課題：新しい教材やICTを活用して、深い学びとなるようにしていく。また、評価方法については引き続き検討・改善をしていく。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
Ⅱ 教育活動に関するもの	③道徳・特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 授業の充実 生徒会活動 	B	<p>成果：スポーツデー・鶴友祭・宿泊学習等において生徒の主体的な活動、および能動的に行動する姿勢を支援した。</p> <p>課題：行事だけではなく、学校生活全般を活性化させるための主体的な活動を考えさせ、実践させていく。</p>
	④総合的な時間の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫改善 	B	<p>成果：学年毎のテーマ中1「地球環境」中2「国際理解・国際交流」中3「自覚」高1「共生」高2「平和」高3「自立」に基づき、豊かな発想を導きプレゼンテーション力をつける指導ができた。</p> <p>課題：個々が問題意識を持って深い学びができるよう指導する。</p>
	⑤生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対応 教育相談 	B	<p>成果：学年会を通して、生徒一人一人への共通理解をして迅速な対応と指導ができた。</p> <p>課題：生徒の問題に対する共通理解と寄り添った指導の充実を一層図るよう努める。</p>
Ⅲ その他	①三位一体の教育	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携 生徒理解 コミュニケーション 	B	<p>成果：保護者との連携を図りながら、生徒一人一人への指導ができた。</p> <p>課題：指導に対する保護者への理解を図り、スピーディーな対応をしていく。</p>
	②キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 中学3年生の実践 高校1年生の実践 	B	<p>成果：中3と高1では、系統立てたキャリア教育を実践し、外部講師を招いて講演会を行った。</p> <p>課題：一貫校としての進路指導の充実および高校生の進路指導の充実を図っていく。</p>
	③防災教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 避難訓練等の実践 伝達システム 	A	<p>成果：様々な想定に基づく訓練を、改善しながら実施することができた。安全会議を実施し、放送機器や備蓄品等の確認を行った。</p> <p>課題：危機意識を持った訓練となるよう工夫をする。</p>
	④学校給食（会食）	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心への対応 アレルギー対策 環境衛生の管理 	A	<p>成果：アレルギー対応と感染症予防への対応が丁寧にかつ正確に行われた。</p> <p>課題：配膳時を含めた会食指導への更なる充実を図っていく。</p>
	⑤鶴友会活動（部活動）	<ul style="list-style-type: none"> クラブ活動の運営 クラブ活動の指導 クラブ合宿 	B	<p>成果：日頃の活動や合宿等において、生徒の主体的なクラブ活動が行なわれていた。</p> <p>課題：外部指導者による技術指導によりクラブ活動の充実を図ると共に活動日数や引率の適正化のもと教員の負担を軽減していく。</p>
	⑥鶴友会活動（諸係り）	<ul style="list-style-type: none"> 諸係りの運営 活動内容の充実 活動内容の改善 	B	<p>成果：仕事内容についての分担化を図って活動をしていた。</p> <p>課題：諸係の各部会や各リーダー会の実施により主体的な活動を指導する。</p>

4 総合評価

- * 教員全員が共通認識をもって各学年・学級目標に基づく指導ができた。
- * 新型コロナウイルス感染症に対する啓蒙指導が成され、安全・安心な学校生活を送ることができた。
- * 教員の共通理解のもと、改善を図りながら生徒の主体的な取り組みを支援することができた。
- * 三位一体の教育を実践することができた。
- * 月間目標の意義を考察し、日々の生活の中に活かしていけるよう指導した。

5 来年度への改善策

- * 新指導要領について、情報の収集と研修・研鑽を積み、さらに内容の充実に取り組む。
- * 授業の充実を図るため、授業改善を意識して研修と研鑽を積極的に行う。
- * 小中高の連携を図ることで、一貫校としての特性を活かした教育の推進を図る。
- * 一人一人の生徒が持つ能力の助長を図るための授業展開を行う。
- * 鶴友会クラブならびに鶴友会諸係において、生徒の主体的な活動を支援する。
- * 一貫校としての進路指導および高等学校の進路指導の充実を図る。
- * 今まで取り組んできたICT化を、今後もIT機器を活用した授業の充実および教員一人一人のスキルアップを図っていくことにより、多様な学び方を通して、生徒一人一人の学力の助長を図っていく。
- * 教員の意識向上をさらに図り、周囲の状況を鑑みながら、各自の職務を遂行していく。

令和5年度 自己評価

川村小学校

1 教育目標

生き生きとした子（やさしい心）

健やかな子（じょうぶな体）

自ら学び自ら考える子（かしこい頭）

2 本年度の重点

3本柱の構築

（1）英語教育（実用英語技能検定奨励）

（2）水泳指導（6年間の目標設定）

（3）情報教育（4年生iPad導入）

3 評価表

*評価基準（A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である）

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神・教育方針 ・校務分掌組織 ・職員会議等の運営 	B	<p>成果：各々の仕事分担を分かりやすいものにする事で、効率の良い時間の配分が可能となった。</p> <p>課題：今後も引き続き、学校経営理念、方針等継続実践の見直しを図りたい。</p>
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・研究組織、計画 ・授業改善への取組 ・研究会への参加 	B	<p>成果：対面でも可能となった東初協研修会に参加するなど、授業改善への取り組みを実施した。</p> <p>課題：学内での研修会を行うなど、より授業を改善できるような取り組みを実施したい。</p>
	③保健・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保健計画、安全計画 ・安全点検 ・緊急時の対応 	B	<p>成果：各学年に応じた内容で安全教室を実施するなど、安全に対する意識づけをすることができた。</p> <p>課題：怪我や病気の児童に対し、通院の有無など学校としての対応をより強化、徹底し取り組んでいきたい。</p>
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理保護 ・施設設備の管理 ・施設の有効活用 	B	<p>成果：共有して使用しているiPadを交換するなど、校舎内の設備の見直しを行っている。台風の危険回避のためにオンライン授業を実施し、情報活用を積極的に行った。</p> <p>課題：職員全員の取り組みを活性化する。</p>
	⑤一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開の実施 ・学校情報の発信 ・小・中・高の連携 	B	<p>成果：コロナ禍により、児童の活動が制約され、今年度も活動が不十分ではあった。</p> <p>課題：鶴友会活動や英検対策講座の早い復活が望ましい。また、算数セミナーにももっと積極的かつ参加者の増加に向け、策を講じたい。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
Ⅱ 教育活動に関するもの	⑥教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標の周知 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 	B	<p>成果：コロナ対策も明け、生活時間帯や学習内容も以前に戻り、安定している。</p> <p>課題：学校における生活の安定と向上を目指したい。</p>
	⑦教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導方法の工夫改善 ・評価、評定の工夫 	B	<p>成果：学校生活、学校行事もほぼ復活し、人間関係を築く上で大切な学校生活を送ることができている。</p> <p>課題：以前に戻すだけでなく、コロナ禍で学んだことを活用し、よりよい教科指導につなげていきたい。</p>
	⑧道徳・特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・授業の充実 ・児童会活動の活性化 	B	<p>成果：誕生会を毎月実施し、各学年が企画して誕生者をお祝いした。児童会活動も積極的に行い、児童委員の自主的な活動が見られた。</p> <p>課題：児童の自主性を大切にし、教員が型にはめることなく取り組む必要がある。</p>
	⑨夢科学習	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫改善 	A	<p>成果：宿泊学習をよりよくするため、毎回内容を吟味しながら進めている。希望者のサマーキャンプ、スキースクールも参加者が多く集まり、積極的に取り組んでいる。</p> <p>課題：今後もそれぞれの見直しを重ね、より充実した宿泊学習を構築していく。</p>
	⑩児童指導	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な生徒指導 ・問題行動への対応 ・教育相談 	A	<p>成果：毎週実施される学年会での情報交換で、問題への早い対応が可能となっている。</p> <p>課題：様々な問題を抱えている児童が多くなっているようである。家庭との協力、およびスクールカウンセラーとの有効な連携がこれまで以上に必要な現状となっている。</p>
Ⅲ その他	⑪三位一体教育	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携 ・児童理解 ・コミュニケーション 	A	<p>成果：家庭との連絡を密にすることで、問題を小さなうちに解決できた。</p> <p>課題：おうち時間が多く、子ども同士のコミュニケーション不足と、高学年のトラブルへの適切な対応が臨まれる。</p>
	⑫英語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・各学年の実践 ・英検対策講座 	B	<p>成果：教科書活用と家庭での音読練習が身に付いているのではないかと思う。</p> <p>課題：具体的な効果と今後を見据えた指導方法の提示。低学年のA・S英語受講者が増加しているため、授業との連携を図ることで、効果を上げ、英検の結果につなげたい。</p>
	⑬防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・避難訓練等の実践 ・伝達システム 	B	<p>成果：幼小中高で避難訓練を実施し、大規模災害に対する備えの準備を進めることができた。</p> <p>課題：心配される自然災害に対し、あらゆる対策を講じ、児童の安全・安心を最大の目的とした取り組みを常に心がける。自然災害への危機感を常に持ち、教師も児童も自身の命を守る行動を身につける。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
Ⅲ その他	⑭会食指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全への対応 ・アレルギー対策 ・環境衛生の管理 	A	<p>成果：アレルギー対応を徹底し、家庭の協力を得て、大きな事故もなく過ごしている。</p> <p>課題：マナー指導など、教員により偏ることのないよう、共通の意識を持って取り組んでいく。</p>
	⑮鶴友会活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動の運営 ・放課後活動の運営 ・A Sの運営 	A	<p>成果：放課後活動利用者が増加し、有意義な活動となるよう、進めていくことができた。</p> <p>課題：教室や対応者など、参加者増加への環境設定が急務である。</p>

4 総合評価

※コロナ禍は一定の収束を見せ、新たな視点での見直しをしながら様々な活動に取り組み始めている。特に新1年生は、小学校に入る前の3年間をコロナ禍で過ごし、制約の多い中で集団生活のスタートを切った子ども達なので、心と体と頭の健やかな成長を促す小学校にて、子ども達に寄り添いながら、身に付けてもらいたい力や経験してほしい体験活動を掘り下げ、具体的な教育活動に生かしていきたいと考えている。また単にコロナ前に戻るのではなく、この3年間で構築してきたオンラインによる学びの保障や各教科でのICT化を展開することで学びの場を、より充実したものにしていく。時代に合わせた対策や見直し、創意工夫により、常にニーズに寄り添う姿勢を大切にこうと考えている。

※コロナ禍を終え、この3年間で他者との関りの面で制約のある生活を送ってきた児童は、年齢相応の体験を欠如した状態に置かれてきたからか、子ども達同士で相手の気持ちを推し量ることができないこと、また実体験を伴わないことから起こるトラブルが多かった。個々の精神的なケアが必要とされる児童も多くあり、スクールカウンセラーの対応を望む声が多々見受けられた。

※宿泊学習や社会科見学など、学外で行う行事について、コロナ前の体系化された実績を改めて見直し、教育課程に基づき、よりよい内容となるよう企画立案をした。

5 来年度の改善策

※「学習習慣」「基本的生活習慣」「家庭での学習習慣」の3つの確立に向け、学校全体で指導を重ね、落ち着いた安全で安心なげがのない学校生活を目指す。

※人間関係をスムーズに構築するため、日常生活や道徳の授業などを通して、相手の気持ちを推し量ること大切さを教えていく。

※放課後活動の授業が年々増しており、A.Sや学習サポートを充実させていく。

※放課後活動の一環として、鶴友会クラブ復活に向け、様々な工夫と工面を試みる。

※内部進学者数増加に向け、算数セミナー（4・5・6年生希望制）の内容充実を努める。

※英検合格を目指し、英検対策講座を再び開講することと同時に、教科書（スマイル）の活用を今一度検討し、より英語力の底上げを図る。また、A・S「英語」の低学年受講生が増加しているため、A・Sとも連携してそれぞれの力を向上させたい。

※4年生から導入となる1人1台のiPadの活用をもっともっと活性化させるべく、活用ルールの徹底と教師の研修にも時間を費やすよう意識を高める。

※外部研修会や個人研修を利用した講習への参加に積極的になるよう呼びかけ、それぞれのスキルを高めようとする意欲を喚起したい。同時に、年間1人1回の研修を受けることを奨励する。

令和5年度 自己評価

川村幼稚園

1 教育目標

- 豊かな「こころ」
- のびやかな「からだ」
- 工夫する「あたま」

2 本年度の重点

- (1) 集団の中で伸びやかに
- (2) 始めの一步を緩やかに
- (3) 行事を通して健やかに

3 評価表

* 評価基準 (A: 十分達成している B: おおむね達成している C: やや不十分である D: 不十分である)

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
I 幼稚園運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建学の精神・教育方針 ・ 職務分掌組織 ・ 職員会議等の運営 	B	成果：学園の理念を伝えながら、それぞれの家庭に寄り添い対応してきた。 課題：今後も全園児が安全安心に通園できる環境が備わるよう努めたい。
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究組織、計画 ・ 保育改善への取組 ・ 研修会への参加 	B	成果：個々の研修を深めてきた。 課題：研修会への参加とそこから学んだ事の共通理解を深めるよう工夫したい。
	③保健・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健計画、安全計画 ・ 安全点検 ・ 緊急時の対応 	A	成果：各校とともに、AED実技講習会や刺す又などの、不審者対応実技講習会を行った。 課題：体力増進のための食と運動による体づくりと、安全安心な園生活を過ごすよう工夫する。
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報の管理保護 ・ 施設設備の管理 ・ 施設の有効活用 	A	成果：日々点検、及び対応をし、安全安心に努めた。 課題：今後も常に園児の活動の安全安心のため、細心の注意を払い、日々の保育を行う。
	⑤一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育公開の実施 ・ 幼稚園情報の発信 ・ 幼・小・中・高の連携 	B	成果：普段の様子を見ていただける参観を行った。鶴友祭で、他の様子も見ることができた。 課題：小中高との連携は年齢的に難しいが、交流の場を持つ機会をつくる努力をする。
II 保育活動に関するもの	⑥保育目標・保育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育目標の周知 ・ 保育計画の作成 ・ 保育活動の評価 	B	成果：毎月の園だよりなどの配布物で保護者へ伝えていきながら、園児の状態と計画を立てていった。 課題：基本的な生活習慣の日々の徹底に努めていく。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
Ⅱ 保育活動に関するもの	⑦保育指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導計画の立案 ・ 指導方法の工夫改善 ・ 評価、評定の工夫 	B	<p>成果：登園に不安がなく、元気に楽しく過ごせるよう、声掛けを行った。</p> <p>課題：発達の気になる子へ目が行きがちになってしまうので、全員に目をかけるようにする。</p>
Ⅲ その他	⑧三位一体の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者との連携 ・ 幼児理解 ・ コミュニケーション 	B	<p>成果：送迎時にクラスや子どもの様子を伝える時間を設け学期ごとの面談を行い、具体的に園での様子を知っていただいた。</p> <p>課題：一人ひとりの園児への理解を深め、保護者から信頼される、幼稚園を目指す。</p>
	⑨防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導計画の立案 ・ 避難訓練等の実施 ・ 伝達システム 	B	<p>成果：毎月の避難訓練を実施した。園庭での避難など、いろいろなシチュエーションの訓練を行った。また1月には大地震を想定した訓練を行った。</p> <p>課題：大地震の際の訓練にも力を入れ、教職員の連携も行っていく。</p>
	⑩給食指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心安全への対応 ・ アレルギー対策 ・ 環境衛生の管理 	A	<p>成果：家庭と協力しながら、安全安心な食生活を送ることができた。</p> <p>課題：食事の環境を整えていく。</p>
	⑪保育後の活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 預かり保育の運営 ・ A Sの運営 	A	<p>成果：預かり保育は16時まで行い、多くの園児が利用している。ASもほとんどの園児が参加している。</p> <p>課題：A・Sを参観したいという声も聞かれるので、行っていきたい。</p>

4 総合評価

* 新型コロナウイルス感染症が5類となり、マスクの着用なども自由になったが、引き続き日々の感染対策を講じ、年間通して感染者が増えることもなく、ほぼコロナ禍前の保育活動に戻していくことができた。

* 園庭の花や木々で季節の移り変わりを感じながら、日々の活動をすることができた。又、花壇で花や野菜を育てる経験をし、植物の生長や世話をする、喜びを得ることができた。

* 令和5年度は、たくさんの行事が復活し、園外保育、年長組蓼科修養会、キンダーファミリーパーティー、親子園外保育のいもほり、鶴友祭、発表会など充実したものとなった。園児も人前に立つ機会を得て、一回りも二回りも成長することができた。

5 来年度の改善策

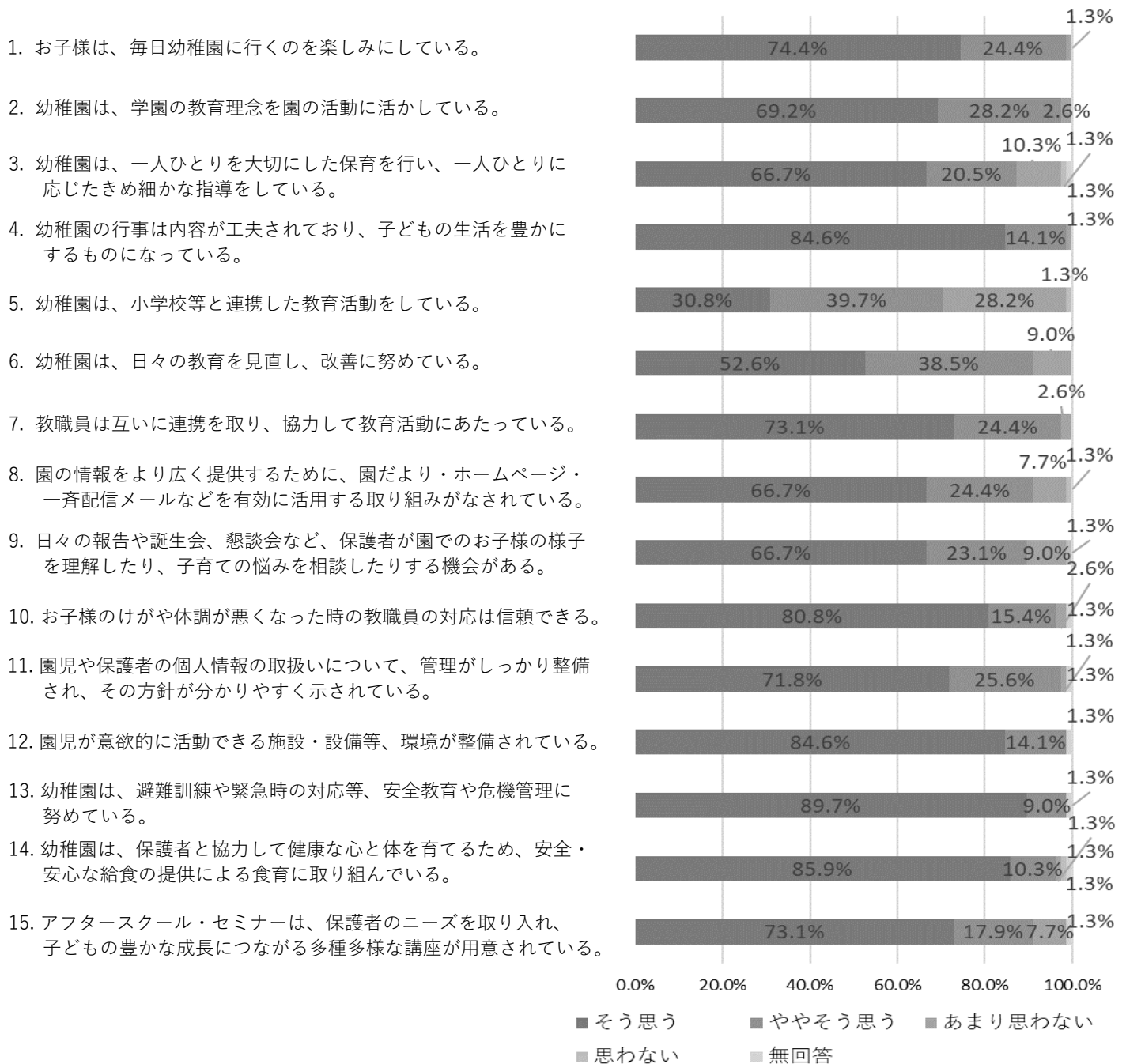
* 新入園児獲得のために、未就園児に向けて、新しく週に2回の未就園児企画「プチキンダー」を実施して、より多くの方に川村幼稚園を知り、興味をもっていただく機会を設ける。

* 令和5年度も多くの行事を行ったが、まだできなかった、年長組のお料理教室やおもちつきなどの行事を検討して、保護者に見ていただけるようにしていく。

【保護者アンケート結果】

実施時期：令和5年12月11日（月）～14日（木） 回答数：78名（回答率91%）

評価： 4 そう思う 3 ややそう思う 2 あまり思わない 1 思わない



【学校関係者評価評価委員会の評価】

* 令和6年3月26日（火） 評議員会

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、園行事については感染拡大に注意しながら、なるべく多くの行事の復活に向け、安全安心を最優先に取り組み、子ども達にとってかけがえのない貴重な経験となっていることが質問4の結果からも分かる。しかし、質問8、9をはじめ保護者側意見としてはまだまだ十分な内容ではないとの見方をしている。一方、質問10、13、14の回答結果が示すとおり、日常的に安全安心を第一に丁寧に保育に取り組んできた姿勢については、今年度も高く評価されている。次年度は、園児の安全安心を第一にした保育はもちろんのこと、幼稚園の教育活動をより深くご理解いただけるよう情報発信に努め、併設校との連携強化も図り、一人ひとりの個性をより重視した教育の実現に繋げてほしい。